

五月五日のくらべ馬はまてつかひといふなり。むまかず二十四疋一とせの月をかたどりて、赤とくろとつかひてはせいだす。そのかみ競馬のはじめはこれたかこれひと御くらひ争ひありしより、此けい馬のかちまけによりて御くらひをさだめ給ひしより事おこりしとぞ。うこんのはじめのひおりの日といふことも此日をいふ也。五月朔日の足揃をあらてつかいと  
いふ。されば頼阿法師のうたに「うちのうちに競るこまのかちまけはのれるおのこのむちのうちから」